2026.10.20

「暮らし満足No.1のまち」を目指して

～令和8年度見附市の取り組み～

見附市長　稲田　亮

市民からの評価

R6年度 市民アンケート

Q. 見附市は住み良いまちですか？

- 「住み良い」「どちらかというと住み良い」と回答した人の割合

91.2%（R4） ➡ **91.8%** 過去最高

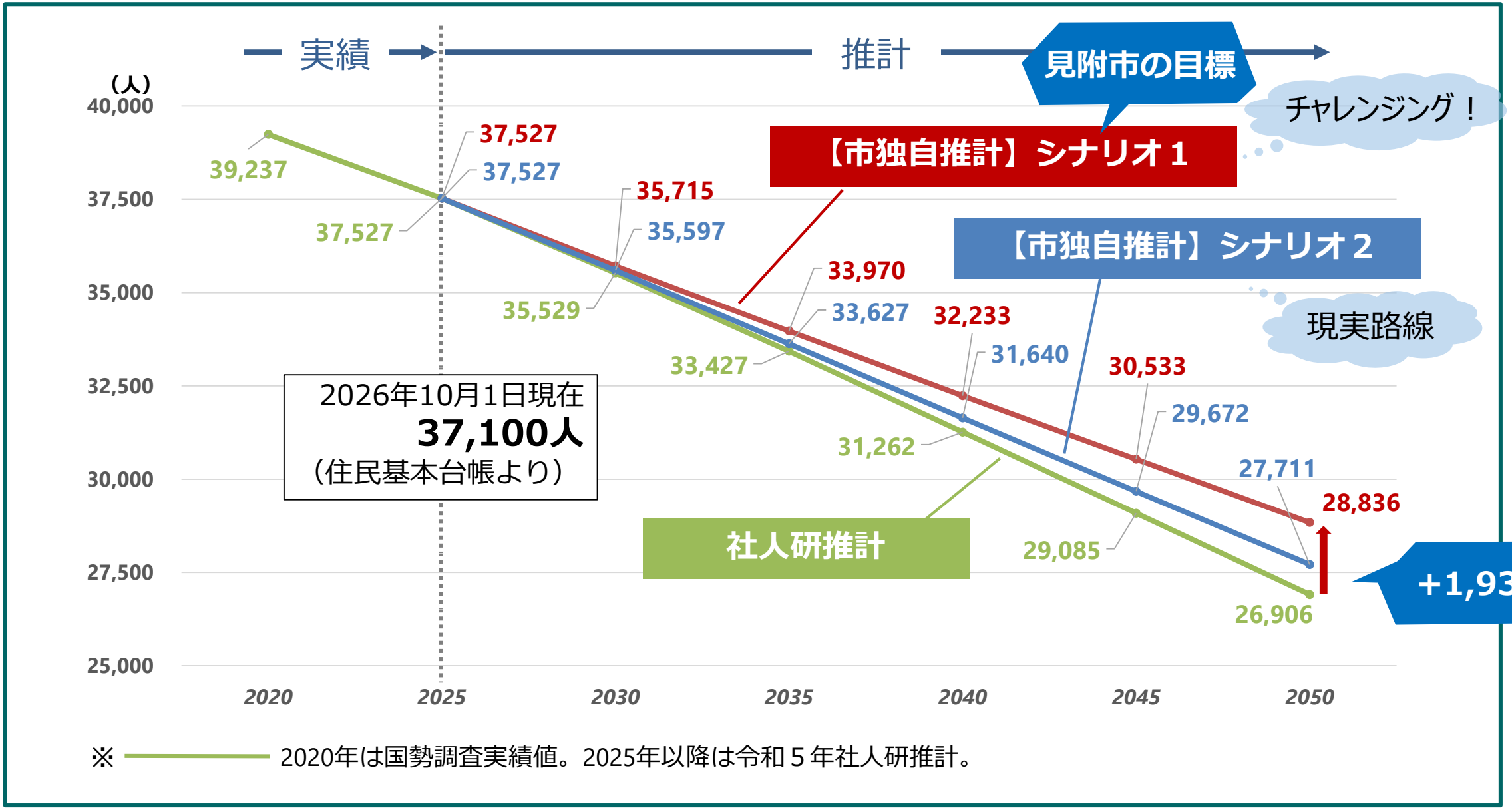
- 「住み良い」「どちらかというと住み良い」と回答した人の割合が

→ 高い年代　①**50代** 94.9%　②**30代** 94.7%　③**70代** 94.3%

→ 低い年代　①**40代** 88.0%　②**20代** 90.3%　③**60代** 90.5%

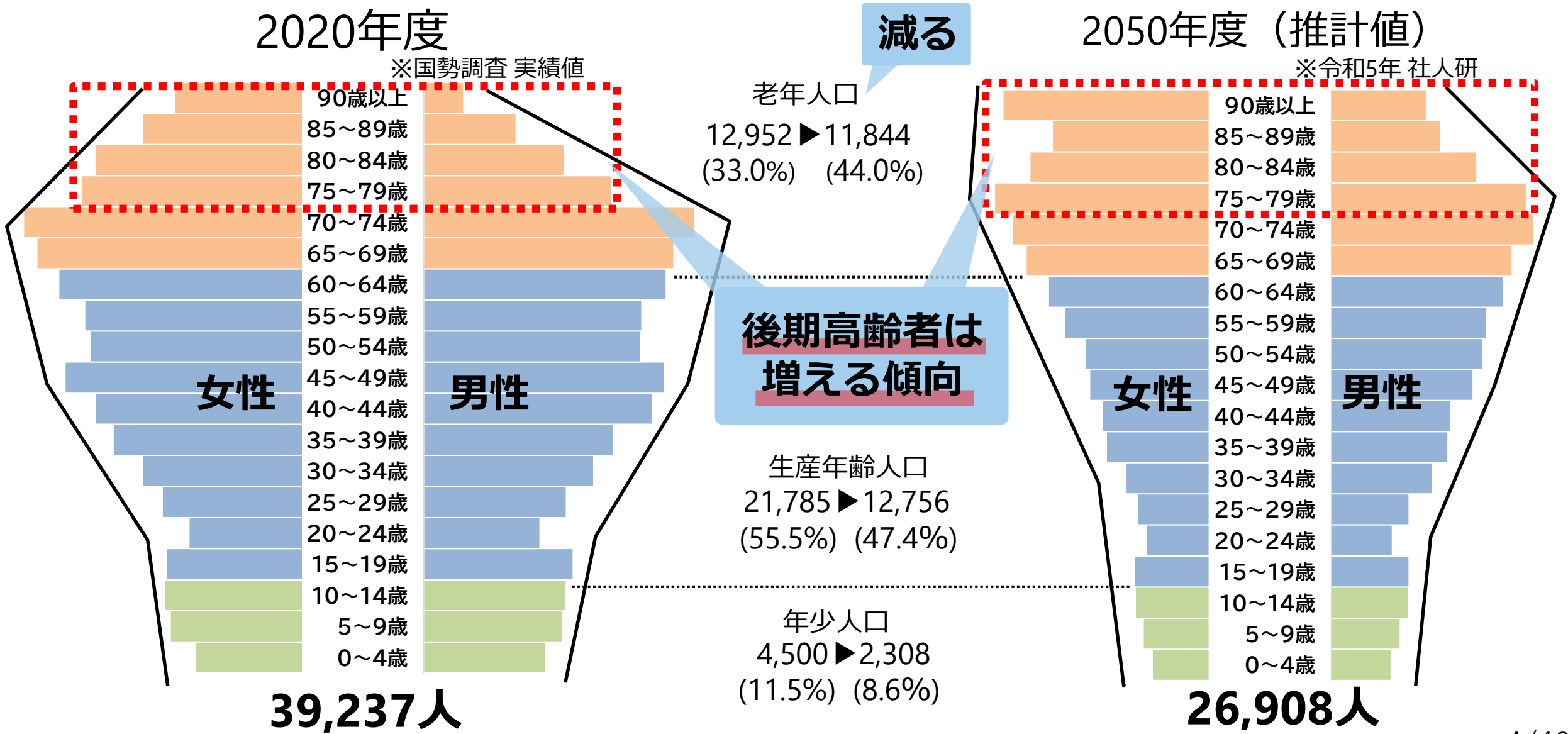
R8年度 市民アンケート集計中

見附市の人口の推計と目標

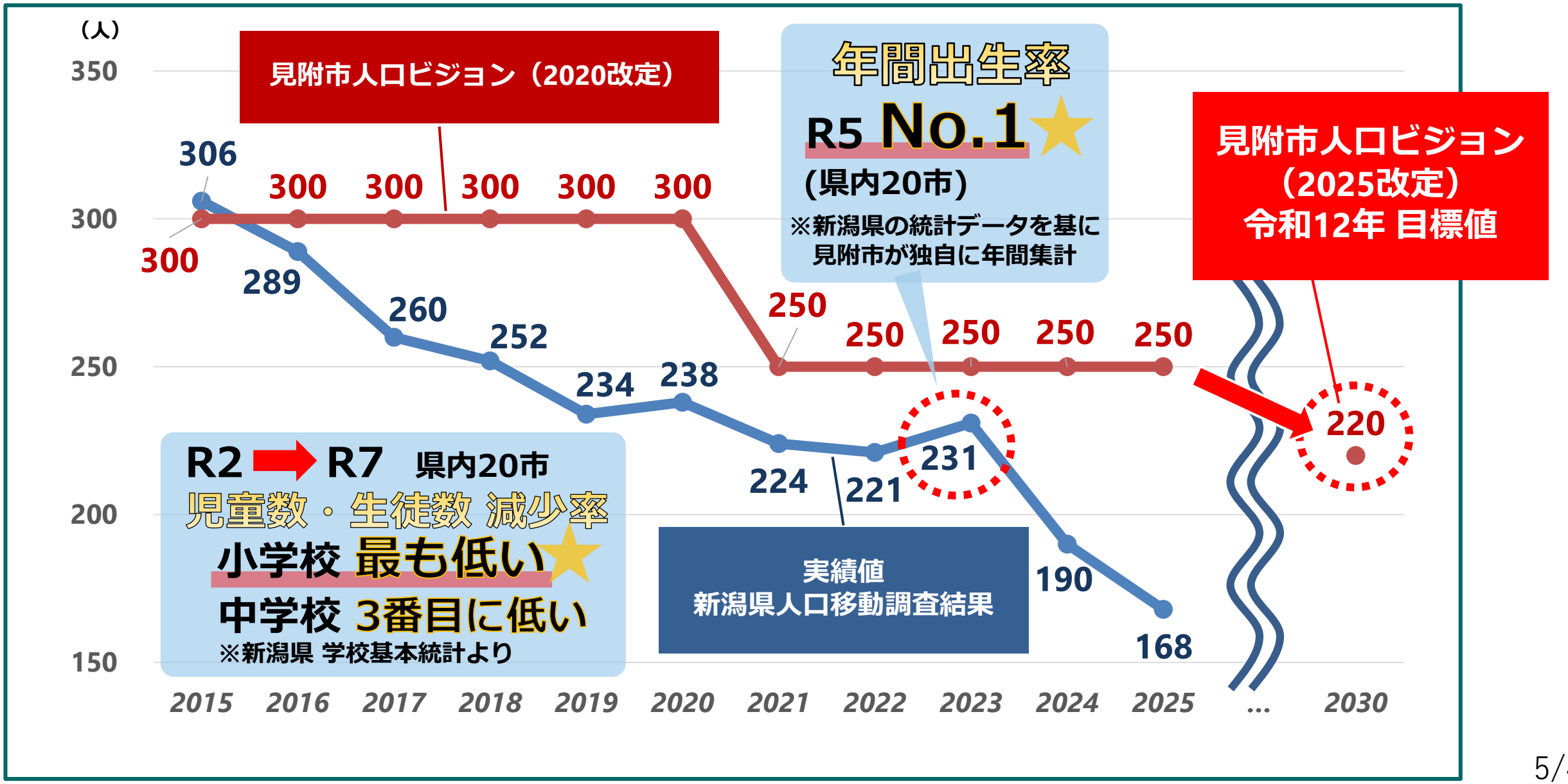


※ ——— 2020年は国勢調査実績値。2025年以降は令和５年社人研推計。

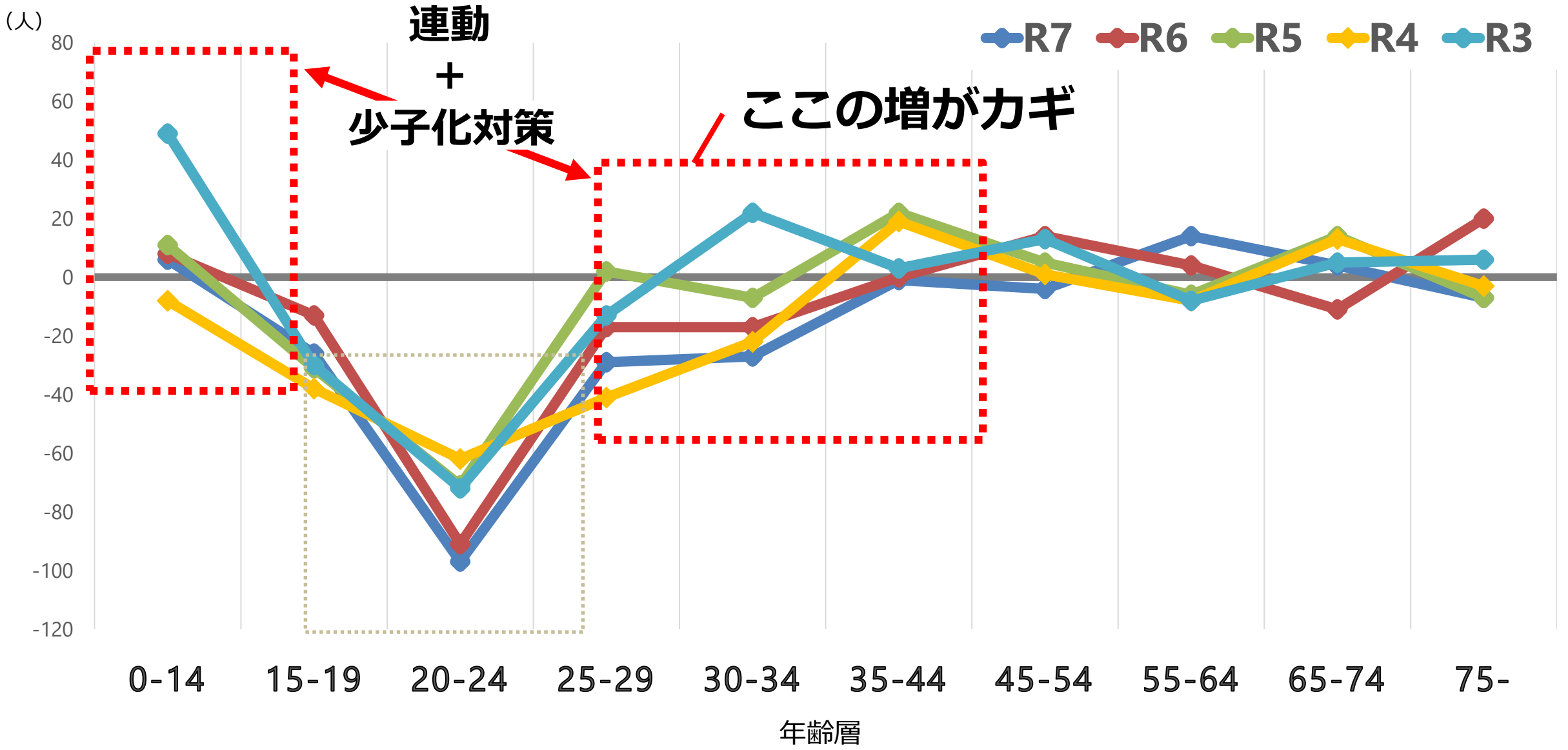
見附市の年齢別人口


2020年度
※国勢調査 実績値
90歳以上
85～89歳
80～84歳
75～79歳
70～74歳
65～69歳
60～64歳
55～59歳
50～54歳
45～49歳
40～44歳
35～39歳
30～34歳
25～29歳
20～24歳
15～19歳
10～14歳
5～9歳
0～4歳
女性
男性
39,237人
減る
老年人口
12,952▶11,844
(33.0%) (44.0%)
後期高齢者は
増える傾向
生産年齢人口
21,785▶12,756
(55.5%) (47.4%)
年少人口
4,500▶2,308
(11.5%) (8.6%)
2050年度（推計値）
※令和5年 社人研
90歳以上
85～89歳
80～84歳
75～79歳
70～74歳
65～69歳
60～64歳
55～59歳
50～54歳
45～49歳
40～44歳
35～39歳
30～34歳
25～29歳
20～24歳
15～19歳
10～14歳
5～9歳
0～4歳
女性
男性
26,908人

見附市の出生数の推移


（人）
350
300
250
200
150
見附市人口ビジョン（2020改定）
年間出生率
R5 No.1
(県内20市)
※新潟県の統計データを基に
見附市が独自に年間集計
見附市人口ビジョン
（2025改定）
令和12年 目標値
306
300
289
260
252
234
238
224
221
231
190
168
300
300
300
300
300
250
250
250
250
250
220
R2 R7 県内20市
児童数・生徒数 減少率
小学校 最も低い
中学校 3番目に低い
※新潟県 学校基本統計より
実績値
新潟県人口移動調査結果
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024
2025
…
2030

見附市の年齢階層別の人口移動状況



※新潟県人口移動調査より（前年10月～9月の人口移動の状況）

第６次見附市総合計画

- **市の最上位計画として R8年度スタート（～R12 前期5年間）**

基本理念　魅力たっぷり 未来につなげる みんなのみつけ

みつけの将来像　笑顔あふれる暮らし満足No.1
ひとつにつながるコンパクトシティ

基本計画策定にあたっての４つの視点

- ●現役・次世代を取り込む魅力の創造・発信（シティプロモーション）
- ●市民の誰一人取り残さない（サステナビリティ）
- ●健やかで幸せな暮らしを支える環境・仕組みづくり（スマートウエルネス）
- ●あらゆる力を結集する（ソーシャルキャピタル＆ＤＸ）

４つの視点（１）

▶現役・次世代を取り込む魅力の創造・発信（シティプロモーション）
＝ いわゆる 人口減少対策 最重要課題

- 稼げる産業創造・雇用環境
- 子育て・教育環境の充実
- 住居、施設の魅力等

さらなる魅力づくり

- ふるさとへの誇り・愛着
- 仲間や見附とのつながり

＋

移住促進施策
効果的・戦略的な発信

見附なら**「暮らせる」「稼げる」**
「こどもを生み育てられる」

子育て世代

見附を一度出ても…
「戻ってきたい」
「役に立ちたい」

こどもたち

未来を担う若者や子育て世代に「選ばれるまち」へ

４つの視点（２）

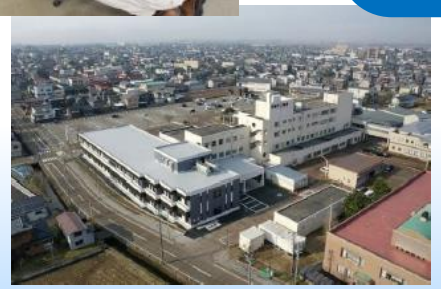
▶市民の誰一人取り残さない（サステナビリティ）

災 害

健 康・医療
(身体、こころ)

障 が い

すべての市民が 年齢や立場、
健康状態、経済状況などにかかわらず
安心して暮らし続けられるまちづくり



多様な
価値観

生活困窮

など

➡ 個性が尊重され、支えあいながら共に生きる持続可能な社会

４つの視点（３）

▶健やかで幸せな暮らしを支える環境・仕組みづくり（スマートウエルネス）

魅力的な施設の集約

公共交通

健康・スポーツ

健康運動教室
約1,000人参加
健幸ポイント事業
約2,000人参加

ウォーカブル
シティ

住んでいるだけで
健幸に！

コミュニティ

花と緑

食による健康

- 医療費・介護給付費の抑制

スマートウエルネスシティの継承・継続

４つの視点（４）

▶あらゆる力を結集する（ソーシャルキャピタル＆ＤＸ）

市民団体

- 活動支援
- NPOへの委託

市・職員

- 職員提案制度
- 人事交流

地域・団体

- 地域コミュニティ
- 民生委員、町内会など

「暮らし満足No.1のまちづくり」に向け力を結集

デジタル技術を活用（AI など）

企業・事業所

- 企業交流会
- 業界団体の交流

国・県・他市

- 首長研究会
- 三市合同職員勉強会

外部人材

- CSO
- 地域おこし協力隊

第６次見附市総合計画

基本目標

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり
-産業・地域を元気にして人を呼び込む-

② 未来を担う人を育むまちづくり
-こども・子育て・若者を支える-

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり
-市民の福祉と安心を確保する-

④ 未来に向けた持続可能な市政運営
-安定的な行財政経営-

4つの視点

(1) 現役・次世代を取り込む魅力の創造・発信

(2) 市民の誰一人取り残さない

(3) 健やかで幸せな暮らしを支える環境・仕組みづくり

(4) あらゆる力を結集する

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 見附への移住促進

- **お試し移住住宅、つながり移住支援金制度、移住アンバサダー認定**
  - ✚ 新たな**ワンストップ相談窓口**を設置

R6 26件 → R7 100件以上

➡ **相談の増加を移住につなげる**

- **小規模同窓会開催支援**を新設、**U・Iターン就職交通費**を拡充　など
- **転入若者世帯への住宅新築支援の充実**

居住誘導区域を追加

▶ 結婚への後押し

結婚支援・新生活支援

- **個別相談会**開催回数を倍増、**伴走型支援**など事業をSNS広告等で周知
- 市内での新婚世帯の新生活支援

➡ **見附に住む・見附で子育てする人を増やす**

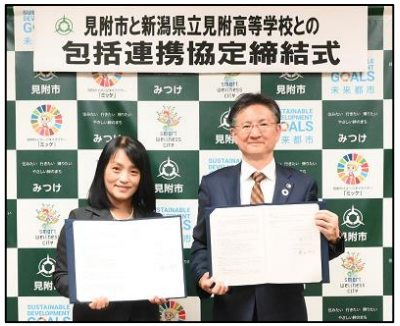
① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶関係人口の拡大

見附と関わって何かしたい！
という方を応援

- **MITSUKE Meet up ✚ Mitsuke Locals**
- **市内高校の魅力づくり（見附高校・創進学園高校）**

  見附高校との連携協定、
  中庭プロジェクト、
  企業見学・講演の支援　など



▶ 交流人口の拡大

R8.4月
リニューアルオープン

- **道の駅パティオにいがた、メグカフェ511** 魅力やイベントを広く発信
- スポーツツーリズムの推進
  女子軟式野球大会への支援　など

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 稼げる農林業の未来づくり

- **地域農業の活性化への新たな支援**
- 水田農業支援補助に**スマート農業支援**を追加

➡ **農業の生産性向上を後押し**

▲ R7.7月設立　みつけ農業女子の会

▶ 安心して農林業ができる環境整備

- 有害鳥獣担い手確保事業等を継続
- **鳥獣被害対策実施隊** を結成

➡ **鳥獣による農業被害の拡大を防止**

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 商工業の稼げる環境構築・人材確保

R7 1,500件以上のマッチング実績！

- **みつけマッチボックス** の充実で人材確保を後押し
- 事業者の地域課題解決など **新たな事業展開をサポート**

地域経済課に相談窓口

- 企業設置奨励条例の見直しにより**設備投資を促進**

雇用条件を撤廃

▲ みつけマッチボックス

▶ 起業・創業の応援

- 起業スクール・セミナー
  プロへの委託で**効果アップ**へ
- 空き店舗改修補助を**商店街エリア外にも拡大**

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 企業誘致

①新潟県中部産業団地
H29年6月完売　進出55社

②都市計画見直し（R5年6月）
約19haを工業区域に編入

③重点促進区域認定（R7年6月）
2か所を設定　**国の制度を活用**

- 中部産業団地周辺（上新田地区）
- 見附工業団地周辺（芝野地区）

- **R8 企業ニーズ・開発調査、企業誘致相談窓口**

➡ **更なる企業誘致**を推進

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 見附駅周辺整備事業

交流拠点 MITSUKERU

駐輪場2階を
リノベーション
(R6.5月オープン)

コインパーキング

地中熱を利用し
歩道を融雪

前期計画(~R6)範囲
後期計画(R9~)予定範囲
※R7～R8は後期計画内容の検討

エリアとしての魅力向上の検討

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 公共交通など 移動利便性の向上

▸ 市全体の移動手段のあり方

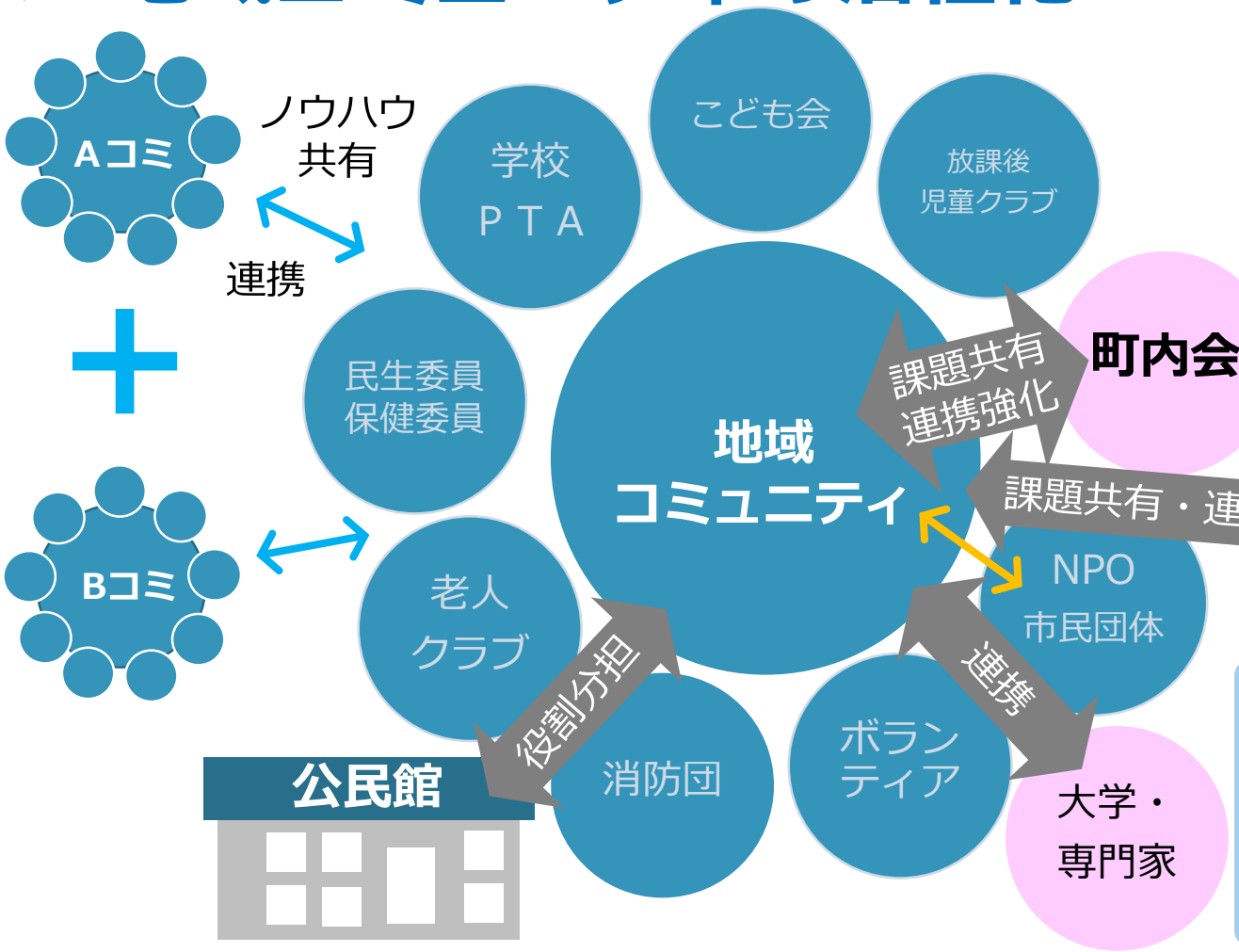
- 学校再編を踏まえた通学のほか、
  高齢者など **あらゆる世代**が対象

➡ 市や地域などがもつ
あらゆる交通手段を念頭に検討

- デマンドタクシーとコミバスの乗継ぎ支援
- **夜間の交通手段確保**　経済活性化
  タクシー会社等と引き続き議論・検討

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 地域コミュニティの活性化



地域課題の解決に向けた取り組み例

- こども　▶ 居場所の創出
- 高齢者　▶ 見守り支援
- 防災　▶ 防災訓練、市民啓発
- 移動支援▶ ワゴンの積極活用
- 多世代交流、共生社会　など

市の支援の取り組み

- 事業提案型交付金（チャレンジ枠）の継続
- 情報やノウハウの提供
- 各種連携の調整　など

➡ **次のステージへ** 地域コミュニティ内での議論を後押し

① 活力とにぎわいあふれるまちづくり

▶ 市民活動・ボランティア活動の推進

- 市内には**約100団体**の市民団体が活動
- **市民力・市民活動の力**が見附の大きな自慢

▲イングリッシュガーデンの植栽等を行う「ナチュラルガーデンクラブ」

- **持続可能な活動環境の整備に向けて**
  - ➡ 新たな参加者の掘り起こし、次世代の担い手育成

- **市民活動支援センター まちなかBASEみつけ**
  - 社会課題解決に向けた活動拠点
    各種団体の窓口機能確保へ

R7.6月オープン

② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ こども・子育てを“どまんなか”へ

R6.3月制定

- 「**見附市こども・子育てどまんなか条例**」

➡
- 子育て世帯が住みたい、住み続けたいと思える見附をみんなでつくる

▶ 子育てへのサポート・負担軽減

- **学校給食費**
  - **小学校**　**完全無償化**
  - **中学校**　約2か月分補助、第3子以降 無償化継続

- 民間による「**多機能子育て支援拠点施設**」整備支援

② 未来を担う人を育むまちづくり

▶働きながら育てられる環境づくり

人材確保効果も

ニーフル

- 新潟県 多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業（Ni-ful）

市の企業支援策

R5 スタート！

- 奨励金交付（100千円／件）
- 既存の設備投資補助に上乗せ（上限200千円／件）
- 従業員の育休取得に助成金交付（50千円／件）

R7～ 全従業員対象

＋ **新たに 育休代替者への手当支給に助成金交付**

- **見附市役所も先導的に！**
  - **育休代替職員への勤勉手当加算**
  - フレックスの拡充
- 放課後児童クラブ　公立保育園　➡ 今後のあり方を検討
  - 体験活動の充実

② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ 見附の未来を見据えたこどもの育成

▸ みつけJobチャレ教育（R6～）

…「起業家精神」「起業家的資質能力」の育成

他者と協働しながら**新しい価値を創造する力**を育成
将来的な**見附での起業・創業**も期待

▸ 企業・地域と連携した特色ある取り組みを後押し

見附市子育て教育の日 との連携
ビジネスアイディアコンテストの充実
ブース型職業体験イベントの開催　など

▸ 「**校内教育支援センター支援員**」を新たに小学校へ配置

➡ 不登校への支援を強化

② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ 見附市学校適正配置計画

R8.3月 策定

▸ 小中学校再編にあたっての考え方

1.共創郷育を大切にし、**コンパクトな見附市の良さ**を活かす
2.見附市のこどもとしての**一体感を育む**ことにつなげる
3.**小規模で特色ある教育を受けることができる**

▸ 再編案

R12 3校・R15 2校

中学校

- **既存校舎を活用**しながら**段階的に統合を進めて** 令和21年度以降に**１校に再編**
- **加えて多様な学びの場に 配慮した学校配置**も検討

小学校

- R９年度 **相互オープン化**、R11年度 **6校に再編**、
  将来的には**４～６校への再編**を検討

- **心身負担ケア**
- **交通手段の確保**
- **特別教室・体育館の空調整備　等**

安全・安心に学べる教育環境づくりに配慮

② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ こどもに魅力的なまちづくり

- **プレイラボみつけ・MITSUKERU**

R5.7月オープン　　R6.5月オープン

- こどもたちの移動手段の一環として
  コミュニティバスを**中学生以下無料化**

R5.7月スタート

- パティオにいがたに**大型遊具を設置**

R8.11月オープン

小学生や園児の
アンケート結果で
デザインを選定

② 未来を担う人を育むまちづくり

▶ 中学生のスポーツ・文化活動の選択肢の確保

- スポーツ・文化系種目
  休日活動はR9年1月までに地域クラブへ移行
- 平日放課後時間の学校を会場に
  学校体験型 活動を開始 (R8)

レクスポーツ、クラフト体験、etc.

▲ R7試験的に「わくわく体験Lab」を実施
（eスポーツ、勉強集中スペース）

➡ **部活動の地域展開 ＋ 活動体験の機会提供**の一体的な取り組み

▶ 若者に選ばれるまちづくり

- 官民連携により若者自らが交流・活躍の場の企画・運営に参加

➡ **地域への愛着・見附とのつながり**を深める

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ 災害時の対応力向上

市民の皆様 **自助**

「自分ごと」
で考えて行動

地域・市 **共助**

避難困難者を
支える

市 **公助**

多様な**情報発信・**
避難所の運営　等

▲平成16年の
7.13水害の様子

市民への啓発
地域コミュニティや町内
での取り組み・啓発

支える取り組み
要支援者個別避難計画
外国人避難対応
デジタル水防の運用試行

メール,SNS,
電話音声(高齢者)
の活用
業務継続計画(BCP)
の対応力向上

- 全市一斉の
  総合防災訓練

- **原子力災害への備え**　避難計画の実効性向上、訓練による確認と検証

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ 東京電力からの拠出金等の活用（新潟県）

- **柏崎刈羽原子力発電所の立地に伴う安全・防災対策の実施　400億円程度**
  - 屋内退避施設となる学校体育館等の環境整備
  - 除排雪体制の維持・強化　　など
- **原子力災害対策重点区域でありながら電源立地地域対策交付金の対象地域となっていない地域への支援　300億円程度**
  - 一般家庭や企業に対する電気料金の補助等の支援
- **地域・産業の振興　300億円程度**
  - 原子力災害対策重点区域に進出等する事業者への支援
  - 全県を対象とした取組

防災対策を必要とする地域
（原子力災害対策重点区域）

UPZ（半径30km）

柏崎市
刈羽村
出雲崎町
長岡市
上越市

小千谷市
十日町市
見附市
燕市

電源立地地域対策交付金
交付対象外

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ ハード面の防災体制の強化

- **地震**
  - 耐震改修等への支援制度の啓発強化
    （耐震シェルターについて広く周知）
  - 下水道などのインフラの耐震化、老朽化対策

▲能登半島地震被災地の様子

- **水害**
  - 貝喰川改修による浸水対策（県事業）
  - 内水対策

- **雪害**
  - 道路除雪体制の維持 ➡ 除雪車1台新規借り上げ
  - 自助・共助・公助による
    持続可能な雪対策の検討

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ クマなど有害鳥獣の人身被害対策

- **農林整備・鳥獣対策係** 設置 (R8)
  実施マニュアルによる**緊急狩猟** など

農林創生課の
農業面の対策との統合で
対策強化・業務効率化

▶ 特定空き家等への対処

R7年度 市内初の
略式代執行を実施

- 空き家所有者への勧告等指導の強化
- モラルハザードを防止する基準の設定

▲R7年2月
下水道管緊急点検

▶ 上下水道などインフラの維持・安全確保

- R8年1月 **広域断水発生** ➡ 断水防止のため**電気設備の二重系統化**を予定
- 全国各地の道路陥没事故なども踏まえ、管路の点検や老朽化更新を着実に！

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ 生活道路の速度抑制対策

- **歩行者の安全な通行の確保**
  「**ゾーン３０**」における路面標示、看板整備　など
  区域の設定以降も **抜け道利用や車の走行速度が課題**

市・警察・国で連携

➡ 追加の対策として **仮設ハンプ・狭さくの設置による実証実験**を実施
（R7年10月～12月）

▼

- **すべての対策区間で速度が低下**
- 特にハンプの設置区間では
  抜け道利用の車両が減少
  30km/h超過の割合が大きく減少
  アンケート結果では
  回答者の53%が「安全になったように感じる」と回答

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ スマートウエルネスみつけ の取り組み

加えて

▶ 地域医療体制の充実

- 診療所の新規開業に向けた積極的な誘致
  重点科目の開業に上乗せ支援(R4～)
  - 内科　小児科　整形外科　精神科　産婦人科
  - **耳鼻咽喉科 追加(R8～)**

R5年4月 新町に3医院が新規開業
(小児科、内科、精神科)

- 市立病院の医師確保に向けた獨協医科大学との連携
  卒業後の市立病院勤務を条件に
  返済免除となる**奨学金の貸与**

R7年度 2人目

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ケアプラザ見附の介護医療院への転換

- 医療と介護・在宅をつなぐ中間施設である「介護老人保健施設」から
  長期的な医療と介護を一体的に提供する「介護医療院」に転換
  （病院運営審議会での審議を踏まえ決定）

- **利用者の実態に即した長期的な医療・介護や看取りに対応**
- **現在の利用者へのサービスを可能な限り継続**
- **一定の収支改善にも期待**　**介護報酬 収入増の見込み**
- **今後のスケジュール（予定）**

R8年度　**第10期見附市介護保険事業計画**（R9～11年度）
への反映に向けた作業、施設・人員体制等の具体化
R9年度　転換に必要な手続き、設備・体制等の転換作業
R10年度 **運用開始**

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶ 住んでいるだけで健やかで幸せに暮らせるまち
「スマートウエルネスみつけ」を 高齢者だけでなく若者や女性、こどもたちにも

- **健幸ポイント事業** 交換率等の見直しにより持続可能な形で事業を継続

連携

- **MOM UP PARK by 健幸スマイルスタジオ**

妊婦さんやママの健康づくりや子育て不安の解消へ

対面＋オンライン

筑波大学監修プログラム

初回無料体験実施中！

運動を通し心身リフレッシュ

専用アプリで健康状態把握

出産・子育て情報交換

参加者に健幸ポイント付与

R5年9月からネーブルみつけ内子育て支援センターで開始！

- **出張健幸フェスタ** の開催

③ 安心していきいき暮らせるまちづくり

▶障がい者施策の充実

R7.3月制定

- 「**見附市障がいを理由とする差別のない　だれもが共に暮らせるまちづくり条例**」
- 条例の**周知・啓発の強化**

  ➡ 障がいを理由とした**差別の解消や共生社会の実現**を目指す

- 障がい者**雇用促進**に向けた取り組み

▶認知症施策

- 認知症になっても 仲間とともに
  希望を持って自分らしく暮らせる地域へ！

④ 未来に向けた持続可能な市政運営

▶ 情報発信

- **市公式LINE**の導入 (R5～)

登録者
10,000人突破！

関心のあるジャンルや居住場所に応じた内容をプッシュ型配信

ごみ収集日のお知らせ　子育て関連情報　**防災情報**　イベント情報

- 緊急情報メールや
  SNSなどで
  効果的・効率的な発信

▲**YouTube** 見附市公式チャンネル
▶見附市オフィシャル **Instagram**

▶市民との意見交換

- 月1回ペースの **ふれあい懇談会** を開催

④ 未来に向けた持続可能な市政運営

Pick UP　中長期財政見通し（R8.2月更新）

今後 歳出超過が拡大の見込み

（円）

	R5 実績額	R6 実績額	…	R8 見込額	R9 見込額	…	R14 見込額	R15 見込額
市の基金増減額		▲ 72百万	…		▲ 1億 12百万	…		▲ 4億 88百万
市の基金残高	43億 76百万	43億 4百万	…	46億 62百万	45億 50百万	…	30億 76百万	25億 88百万

将来的には楽観視できる状況にない

▶ 今後の取り組み

- **歳入確保**
  地場産業の活性化や企業誘致、ふるさと納税、公共施設利用料の見直しなど
- **歳出見直し**
  事業の内容や計画の検証、ICTを活用したサービス効率化による経費削減など
- **公共施設等最適化**
  集約・複合化や運営方法見直し、民間活力の導入、施設の再編や有効活用の検討など

➡ **課題解決に向けた新たな取り組みへの財源を確保**

④ 未来に向けた持続可能な市政運営

▶ 公共施設の最適化

魅力の維持・向上に配慮しながら**財政体質改善**へ

- 収益施設（道の駅パティオにいがた、メグカフェ511）

施設の魅力向上策

＋

収入歩合方式

市民
- 質の高いサービス享受

指定管理者
- 創意工夫で利益確保

見附市
- 安定収入

①施設の統廃合・機能転換
②受益者負担の適正化
③自律的な財源確保

- R8年5月 **グランドデザイン**（最適化の方向性）案を発表

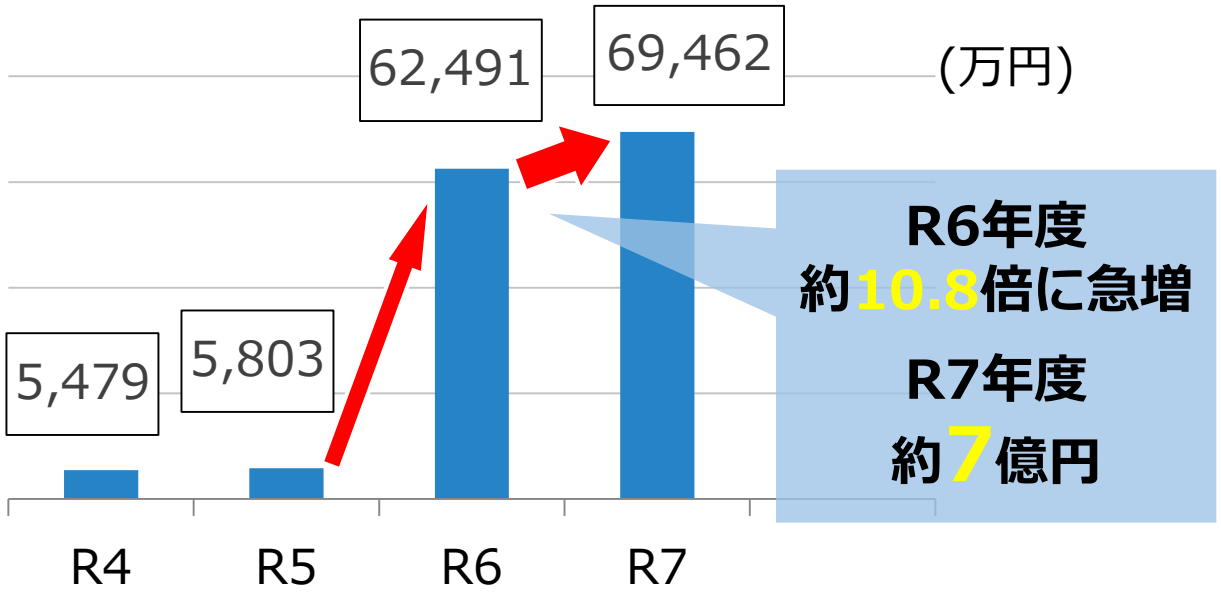
➡ **ハード・ソフト両面からの改善を目指す**

10年間(R9～)で
年1～2億円の収支改善

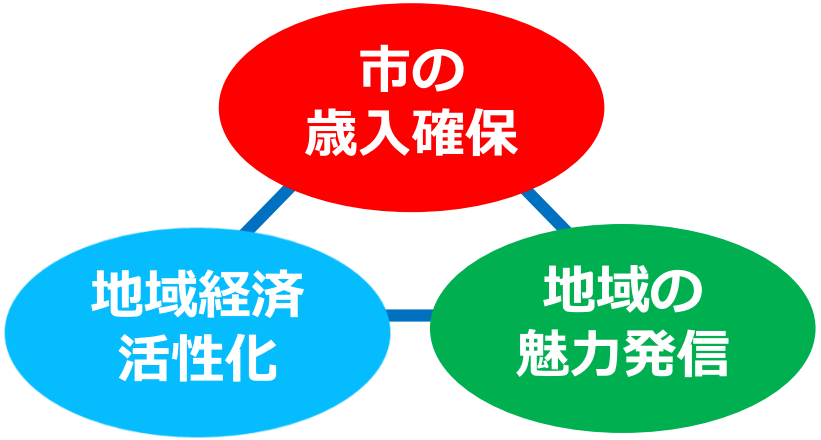
- R9年3月 **アクションプラン**（個別計画）案を発表

④ 未来に向けた持続可能な市政運営

▶ ふるさと納税の強化



- 専門事業者と連携して
  返礼品開発・ＰＲ
- **安定的な寄附額確保**へ



⑤ 物価高騰対策

- **「みつけ暮らし応援券」(R8.3月～)**
  - 1人あたり **1万円分を給付**　**おなかの赤ちゃんも対象**
  - 市内店舗で利用 ➡ 活性化に寄与
  - R8年12月31日まで利用可能

- **中学生給食費支援 (R8年度)**

- **追加支援 (R8.8月頃～)**
  - 中小企業・小規模事業者
  - 農業（水田保全管理）
  - 介護・障害福祉施設、保育所・放課後児童クラブ　など

施政方針のまとめ

市民の皆様との**対話**の継続

職員との議論と**ボトムアップ**の施策づくり

恐れない**チャレンジ**と丁寧な説明

「自然と笑顔があふれる見附の未来」を
市民の皆さんとともに！